

## 第229回 番組審議会

1. 日 時 平成26年2月18日 (火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 11名  
出席委員数 8名 (欠席委員数 3名)

### ○ 出席委員 (敬称略)

中村 慶久 (委員長)

—以下50音順—

石田 征広

加藤 裕一

木戸場 美代子

久慈 浩介

斎藤 純

菅原 正二

吉田 浩次

### ○ 会社側出席者 (7名)

佐藤 滋樹 (代表取締役社長)

小原 忍 (専務取締役)

前田 秀男 (取締役技術局長)

藤原 銀司 (取締役営業局長)

工藤 浩 (取締役総務局長)

高前田 幸大 (岩手めんこいテレビ業務推進部)

寺沢 樹理 (めんこいエンタープライズ制作部)

### ○ 事務局 佐々木 久仁子

#### 4. 議 題 『EXPLORER』

平成26年2月1日(土) 12:00～12:55 放送

#### 5. 議 事 概 要

今回は、2月1日(土) 12時に放送された『EXPLORER』を審議しました。  
議事の概要は以下の通りです。

##### ●岩手めんこいテレビ業務推進部高前田プロデューサーからの説明

・この番組は、35歳以下の社員で構成された「アンダー35プロジェクト」を中心に企画、制作した。若い世代の視聴者に「明日から頑張ろう」「新しいことを始めよう」といった前向きな気持ちになって欲しいという思いがあった。

・出演者には、岩手県民なら誰もが知っている菊池雄星選手と大谷翔平選手を選んだ。2人がテレビ番組で対談するのは初めてである。またハウスダンサーのSYUHOさんとデザイナーのTAKAさんにも出演いただいた。2人の活動や活躍を県民に知ってほしいと思い人選した。

##### ●めんこいエンタープライズ寺沢ディレクター

・今回は、若者に見て欲しいというテーマで制作した。カッコよく、ちょっと青臭い感じを出そうと思い音楽、オープニングタイトル、テロップなどを工夫した。ナレーションも部活動の女子マネージャー風に演出した。

・それぞれの対談では、出演者から「アナウンサーがいた方が話しやすい」という話もあったが、あまり誘導せず素の表情を出したいと思い2人だけの対談にした。出演者も制作者も若いので荒削りの部分もあったと思う。

## ●出席した委員からの意見

・日本に残って活躍する菊池雄星選手と大谷翔平選手、渡米して道を切り開いたSYUHOさんとTAKAさんという対比もあり、単体で紹介するより膨らみのある構成に仕上がっていた。

・SYUHOさん、TAKAさんの存在を始めて知った。岩手県出身の若者の活躍を知り、その魅力に惹きつけられ、希望を抱かせるものだと感じた。

・若者に見て欲しいという意図が、斬新な番組デザインに表れており訴求力があつた。

・出演者の本音を引き出し、素の表情が垣間見えるなど、対談番組の良さが出ていた。

・シリーズ化して、オリンピックで活躍している岩手出身の若者や、女性の「エクスプローラー」的存在の方などを紹介してほしい。

・2組の対談が交互に構成され、年配の視聴者には切り替えが難しいと感じる場面があつた。

・対談場所での雰囲気づくりやカメラアングル、照明など、対談に慣れていない出演者がしゃべりやすくなるような制作者側のおもてなし（気配り）がもう少しあれば良かった。

## 6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとつた措置

特になし

## 7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

\* 平成26年2月19日（水） 産経新聞 東北版

\* 平成26年3月1日（土）午前4時12分から4時15分まで「めんこいテレビ

番審リポート」として放送

\* 据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項

特になし